

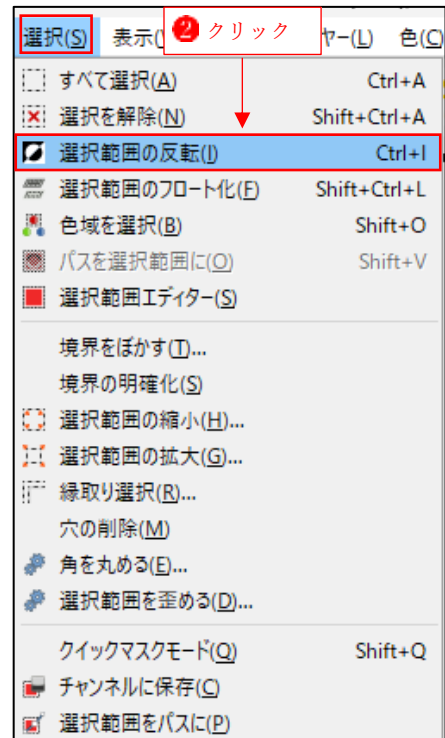
## [選択メニューの機能]

### 1 選択範囲の反転

[選択範囲の反転]は、選択範囲外と選択範囲内を置き換える加工です。[選択]メニューの[選択範囲を反転]をクリックするだけで実行できます。

- ①サンプルデータを開きます。
- ②[色域を選択]ツールでオブジェクトの黄色い部分をクリックし、選択範囲を作成します①。
- ③[選択]メニューの[選択範囲を反転]をクリックします②。

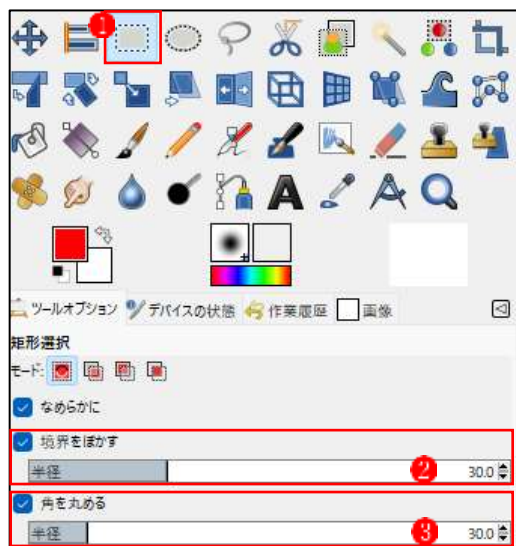
✚ [選択範囲の反転]の結果がよく分かるように、[編集]メニューの[描画色で描画]（あらかじめ描画色に緑を設定しておきます）をクリックしてみました③。



## 2 境界の明確化

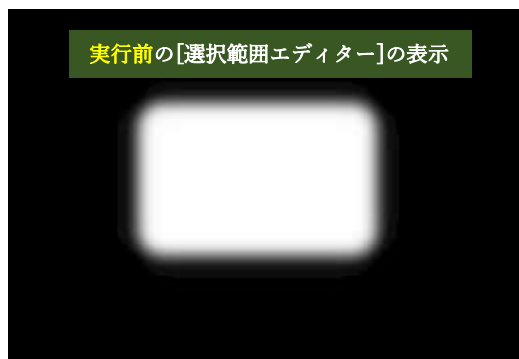
[境界の明確化]は、ぼけた選択範囲の境界部分をくっきりとさせる機能です。[選択]メニューの[境界の明確化]をクリックするだけで実行できます。現在の選択範囲の破線表示とおりの選択範囲になります。

- ①[矩形選択]ツールを選択し①、ツールオプションの[ぼかし]にチェックを入れ、[半径]を[30]程度に設定します②。また、[角を丸める]にチェックを入れ、[半径]を[30]程度に設定します③。適宜の大きさの四角形を選択範囲にし、Enter キーを押して確定します。

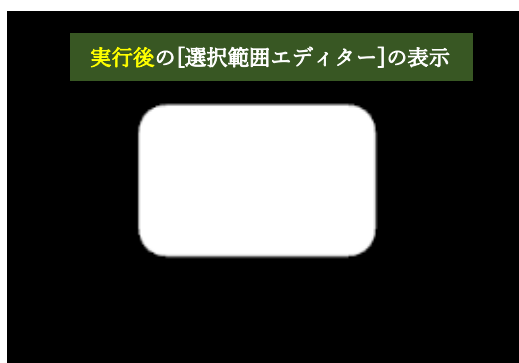


- ②選択範囲の境界のぼけ具合を確認するために、[ウィンドウ]メニューの[ドッキング可能なダイアログ]から[選択範囲エディター]ダイアログを表示します。

黒の背景の中に白くぼけた四角形が確認できます。



- ③[選択]メニューで、[境界の明確化]をクリックします。[選択範囲エディター]ダイアログで確認します。境界がくっきりしました。

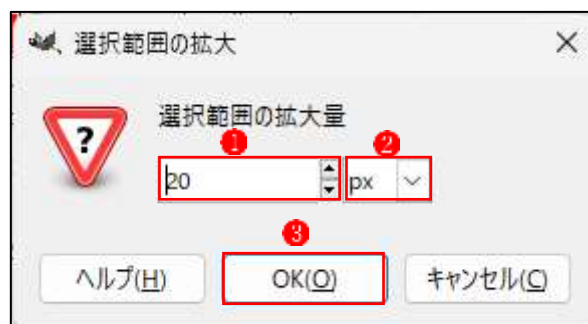


### 3 [選択範囲の縮小]と[選択範囲の拡大]

[選択範囲の縮小]と[選択範囲の拡大]は、加工前の選択範囲を一定の幅で縮小または拡大する機能です。操作方法は同じなので、ここでは[選択範囲を拡大]を例に説明します。

[選択]メニューの[選択範囲を拡大]をクリックすると、[選択範囲の拡大]ダイアログが表示されます。

[選択範囲の拡大]に拡大幅を入力します①。単位は②をクリックすると変更できます。[OK]をクリックすると選択範囲が拡大されます③。



### 4 縁取り選択

[縁取り選択]は、選択範囲として表示されている波線を中心とした一定幅の選択範囲を作成する機能です。

[選択]メニューの[縁取り選択]をクリックすると、[縁取り選択]ダイアログが表示されます。

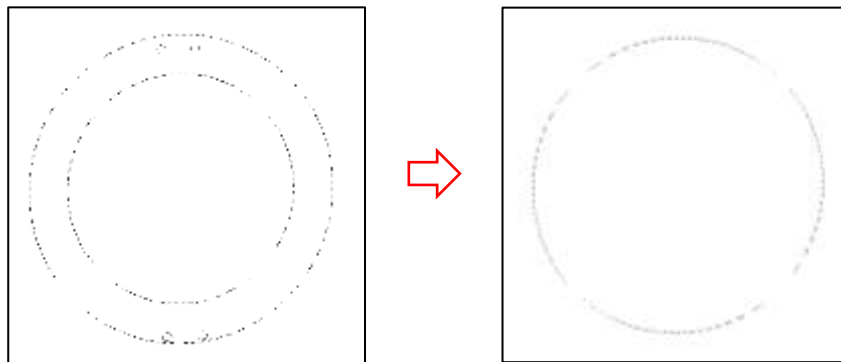
[選択範囲に対する線の幅]に幅を入力します①。単位は②をクリックすると変更できます。[OK]をクリックすると選択範囲が変更されます③。



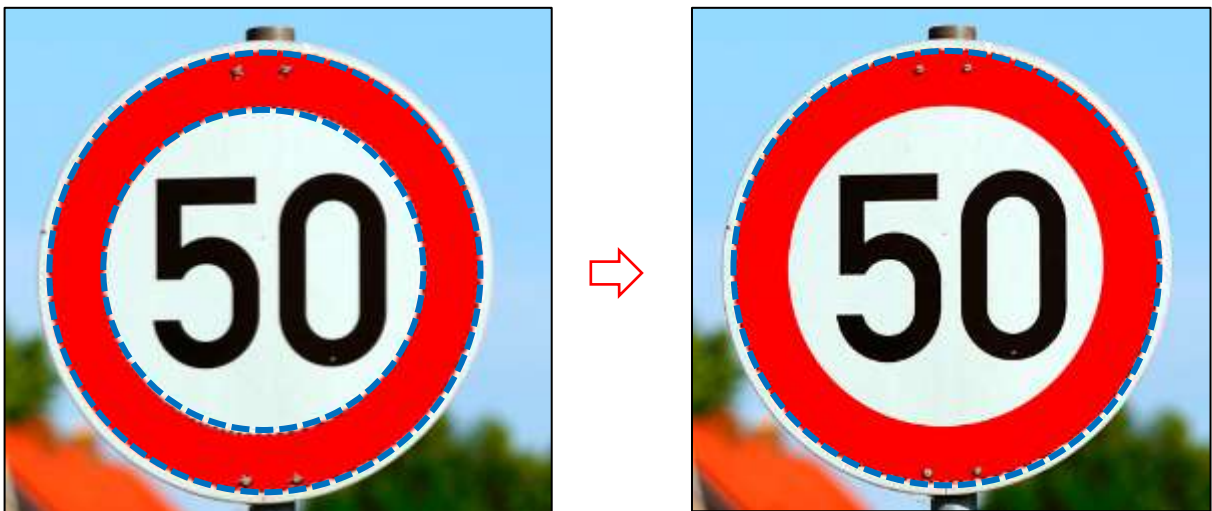


#### 4 [穴の削除]

[穴の削除]は、ドーナツ状のように、選択範囲内に部分的に範囲外の穴がある場合に、これも選択範囲として含めるときに使う機能です。[選択]メニューの[穴の削除]をクリックするだけで実行できます。[ファジー選択]ツールや[色域を選択]ツールで選択した選択範囲などで使用すると効果的です。



[穴の削除]を実行すると、ドーナツ状の選択範囲の内側部分を選択範囲に含める

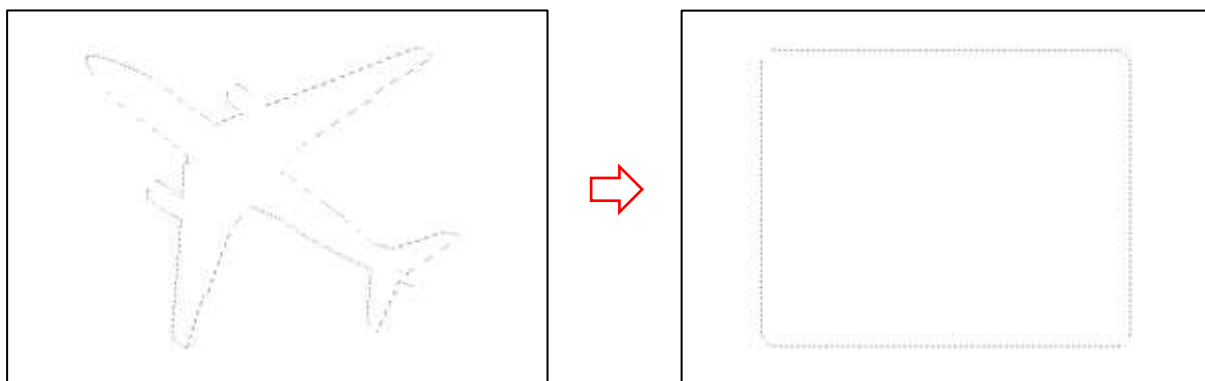
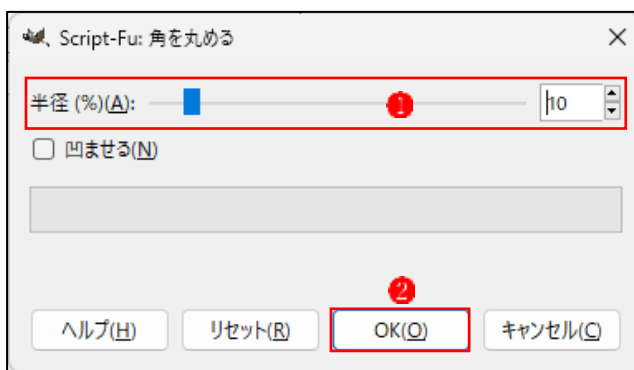


[ファジー選択]ツールで選択した選択範囲（左）に、[穴の削除]を実行した（右）。

## 5 [角を丸める]

[角を丸める]は、加工前の選択範囲をすべて含まれる最小の長方形に変換し、その角を指定した大きさで丸める機能です。

[選択]メニューの[角を丸める]をクリックすると、[角を丸める]ダイアログが表示されます。[半径]を調整して①、[OK]をクリックすると②、選択範囲が修正されます。半径の単位は[%]で、変換後の長方形の短辺に対しての割合です。半径を[0]にも設定できるため、単に選択範囲を含められる最小の長方形を作成する場合にも使用できます。



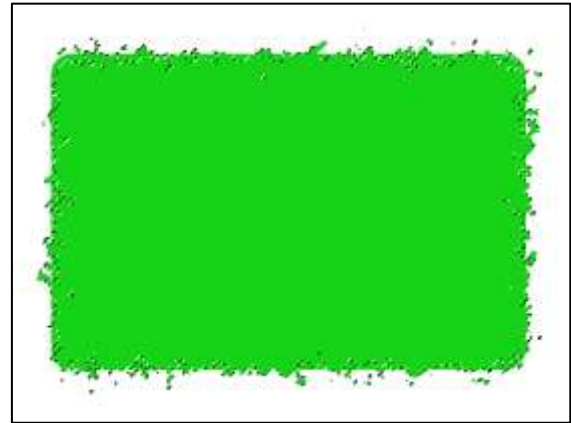
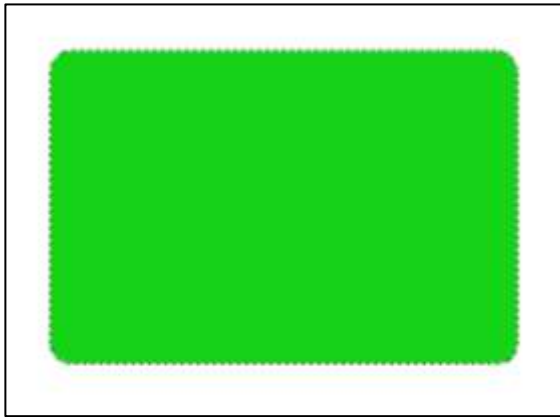
[選択]メニューの[角を丸める]の実行前 (左) と実行後 (右)

## 6 選択範囲を歪める

[選択範囲を歪める]は、選択範囲の境界を歪めてラフにする機能です。

[選択]メニューの[選択範囲を歪める]をクリックすると[選択範囲を歪める]ダイアログが表示されます。[しきい値]①は、[128]で内側と外側をほぼ均等に拡散します。小さくすると内側、大きくすると外側に拡散範囲が変わります。[拡散度]②は拡散する大きさ、[粒状度]③は拡散させる際の粒状の大きさを指定します。[OK]④をクリックすると選択範囲が歪みます。



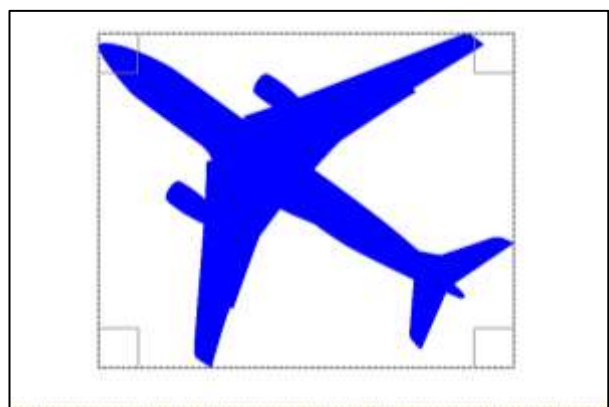


[選択]メニューの[選択範囲を歪める]の実行前の選択範囲を塗りつぶしたもの（左）と実行後の選択範囲を塗りつぶしたもの（右）

### Step UP [矩形選択]ツールの[ツールオプション]の[選択範囲の自動縮小]

[矩形選択]ツールの[ツールオプション]にある[選択範囲の自動縮小]は、現在の選択範囲内にあるレイヤー画像の色を判断してその色が含まれる最小の選択範囲に修正する機能です。

たとえば、[矩形選択]ツールで、元の選択範囲として特定の色の部分をすべて含む選択範囲を作成し、[ツールオプション]ダイアログの[選択範囲の自動縮小]をクリックすると、その色を含める最小の長方形の選択範囲になります。右図のような単色の場合は期待どおりに縮小されますが、写真など多数の色がある場合は期待どおりにならない場合があります。



[選択範囲の自動縮小]実行前の選択範囲（左）と[選択範囲の自動縮小]の実行後（右）